

年頭の ごあいさつ



横河電機健康保険組合
理事長 相澤 動太

新年明けましておめでとうございます。

事業主ならびに被保険者の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまもすでにご存知のように、昨年4月から被扶養者を含めた40歳～74歳の方全員を対象に特定健診・特定保健指導が始まりました。初年度ということで各健診機関との健診結果データ授受の問題や各健診機関が非常に混雑し、予約がとりにくい状況が続くなど混乱した部分もありましたが、現在、皆さまの特定健診結果データを頂いて、特定保健指導を実施しております。特定健診については、来年度も被保険者の方々は、事業主が毎年実施する法定健診の結果を健康保険組合が事業主から受け取ることにより特定健診を受診したものとみなされますので、定期健診は必ず受診頂き、また、被扶養者の方々は、健康保険組合より健診の案内が届きましたら、ぜひ早めの受診をお願い致します。

また、皆さまも報道等でご存知のとおり、昨年4月よりスタートした新しい高齢者医療制度による納付金等の負担増の影響により、各健康保険組合は極めて深刻な事態に直面しております。健康保険組合全体の平成20年度予算では、納付金等の負担額が保険料収入の46%を超え、赤字組合数は9割に達しております。そのため昨年は10以上の健康保険組合が財政悪化を理由に解散を余儀なくされるなど、今後も更なる解散組合の増加が懸念されております。当健康保険組合も皆さまから頂いた保険料収入の51%が高齢者医療制度の納付金等で占められており、決して例外ではありません。従って、今後も保健事業全体の思い切った見直しを進める中で、近い将来には保険料率のアップについても検討しなければならないと考えております。

新しい年を迎え、ますます厳しい状況になることが予想されますが、職員一丸となり、皆さまの健康の維持・増進の担い手として努力するとともに、これからも組合財政の健全化と健康づくりへの取り組みをいっそう強化してまいりますので、これまで同様、ご理解とご協力を頂けますようお願い申し上げます。

最後に、皆さま方とご家族の方々の益々のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成 21 年元旦

